

## 8. シリアルポートから 10BASE-T ポートへつながる LAN へ接続する (簡易 LAN 接続)

RS-232C ポートまたは USB ポートに接続した端末を、10BASE-T ポートに接続した端末の LAN に参加させることができます。これによって、10BASE-T ポートに接続した場合と同じように、インターネットに接続したり、ネットワーク上の資源を利用できるようになります。

ここでは、INS ネット 64 回線を利用している場合の例で説明します。



### ■設定のポイント

- ・ 10BASE-T ポートに接続したパソコンで LAN を構築後、別のパソコンを RS-232C ポートまたは USB ポートに接続します。
- ・ 本商品に付属の CD-ROM を使い、本商品の RS-232C ポートまたは USB ポートに接続したパソコンにモデム定義ファイルをインストールします。モデム定義ファイルのインストールについては、「本商品へ接続する前の準備<パソコンでの操作>」を参照してください。
- ・ パソコンのダイヤルアップ設定に、電話番号「9999」、IP アドレス「自動取得」サーバの種類「TCP/IP のみ」を設定します。また、ユーザ ID、パスワードは空白のままとします。

### ■動作条件

- ・ シリアルポートに端末を接続する

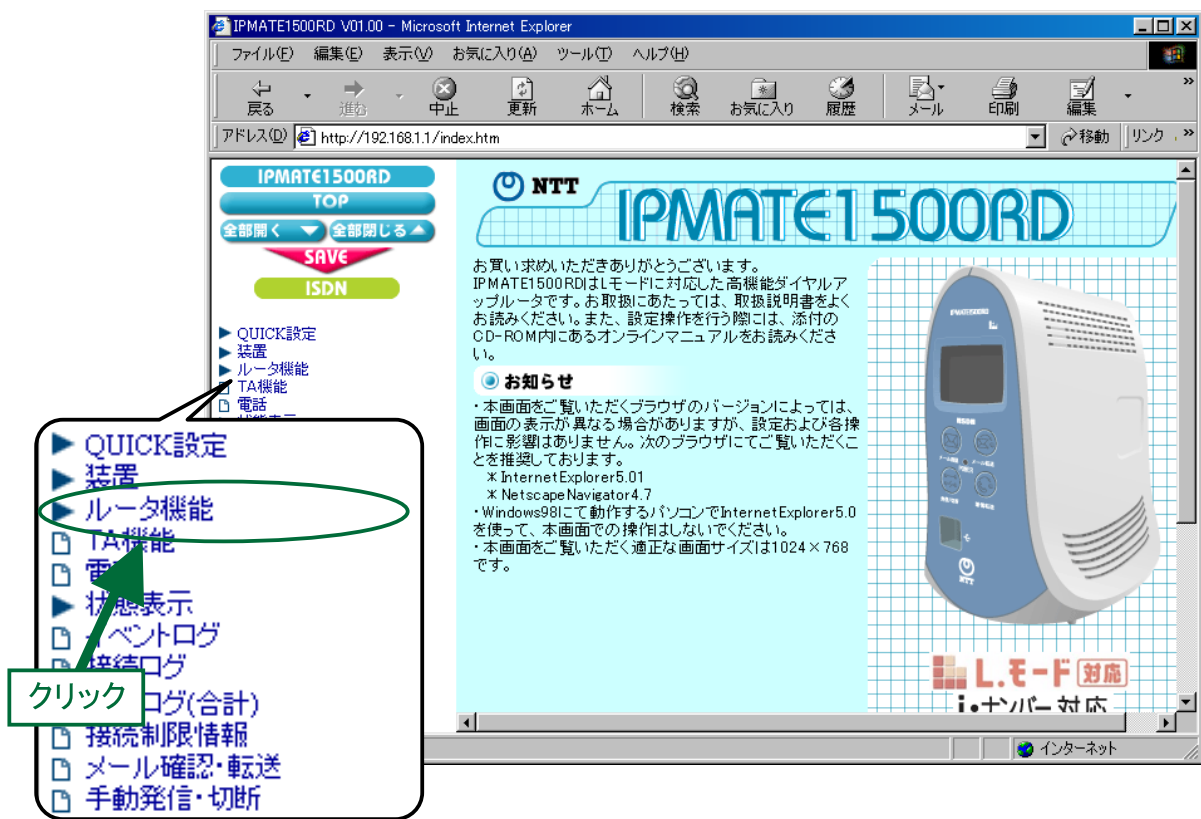
### ■設定例

#### ●本商品

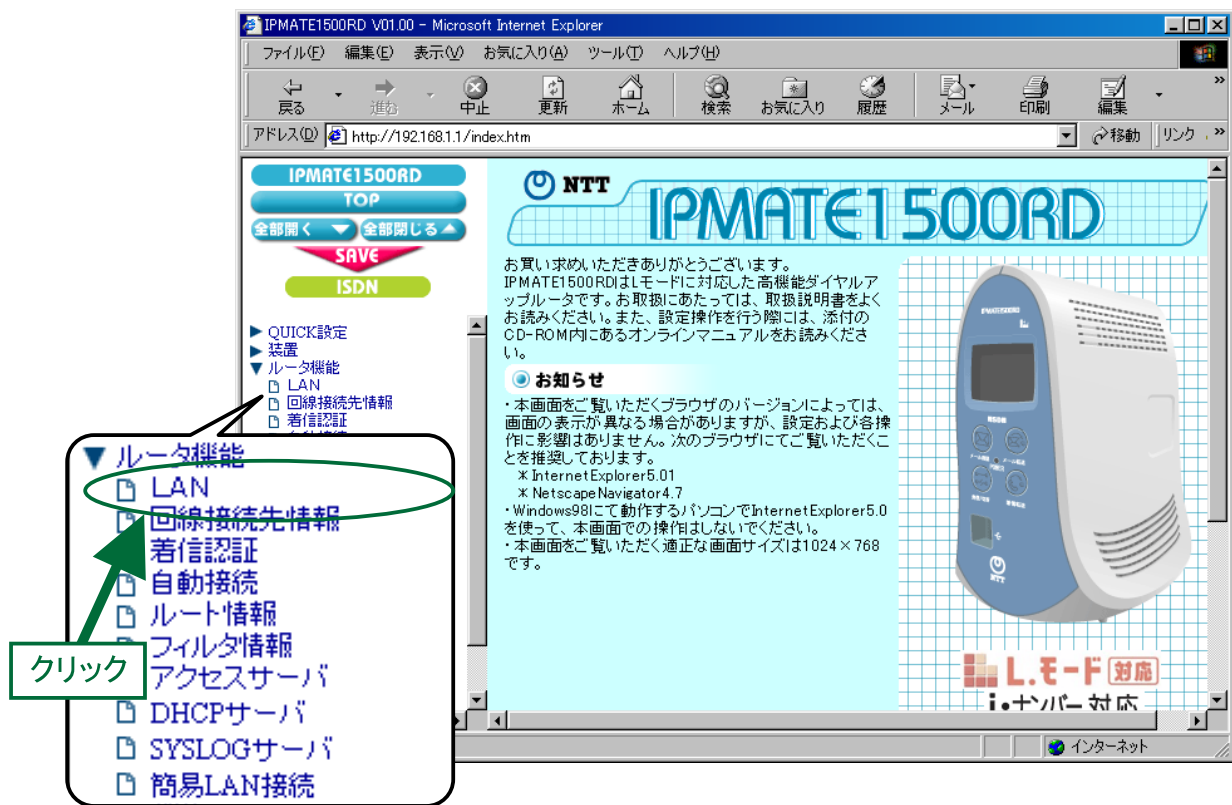
LAN 情報の設定を行います。

1. 設定用のパソコンを 1 台決め、パソコンを本商品に接続します。  
WWW ブラウザを起動したのち、本商品にログインします。

2. TOP ページが表示されます。  
端末の設定を行います。  
「ルータ機能」メニューをクリックします。



3. 「ルータ機能」メニューから「LAN」をクリックします。



4. 「ルータ機能／LAN」画面が表示されます。  
「IPアドレス」にて次の項目を設定します。

項目	設定例	備考
LAN側のIPアドレス／マスク	192.168.1.1/24 (255.255.255.0)	プライベートアドレスを設定します。

LAN側のIPアドレス／マスク 192.168.1.1 / 24 (255.255.255.0)

\*ここでIPアドレス／マスクを変更すると、[ルータ機能／アクセスサーバ](アクセスサーバ)割当てIPアドレス、および[ルータ機能／簡易LAN接続]RS-232C用IPアドレス、USB用IPアドレスに、同一ネットワークのアドレスが自動的に設定されます。

5. [設定]ボタンをクリックします。

クリック

6. 引き続き、DHCP サーバの設定を行います。  
「ルータ機能」メニューから「DHCP サーバ」を選択します。

The screenshot shows the IPMATE1500RD V01.00 web interface. The browser window title is "IPMATE1500RD V01.00 - Microsoft Internet Explorer". The address bar shows "http://192.168.1.1/index.htm". The main content area is titled "ルータ機能 / LAN" and displays the "LAN側のIPアドレス / マスク" field with the value "192.168.1.1 / 24 (255.255.255.0)". A "設定" button is visible next to the field. A callout box with a green border and arrow points to the "DHCPサーバ" option in the expanded "ルータ機能" menu, with the text "クリック" inside a small box below it.

ルータ機能 / LAN

IPアドレス

LAN側のIPアドレス / マスク  /

\*ここでIPアドレス / マスクを変更すると、[ルータ機能 / アクセスサーバ] (アクセスサーバ) 割当てIPアドレス、および [ルータ機能 / 簡易LAN接続] RS-232C用IPアドレス、USB用IPアドレスに、同一ネットワークのアドレスが自動的に設定されます。

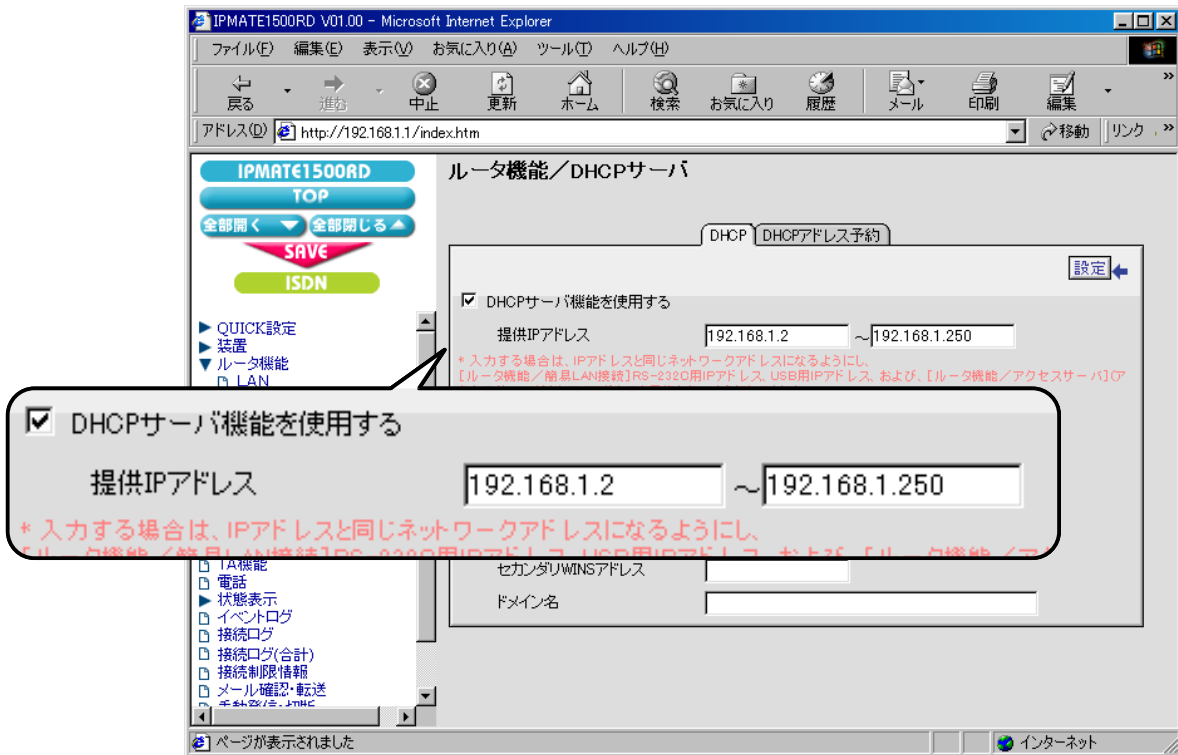
ルータ機能

- LAN
- 回線接続先情報
- 着信認証
- 自動接続
- ルート情報
- フィルタ情報
- アクセスサーバ
- DHCPサーバ
- SYSLOGサーバ
- 簡易LAN接続

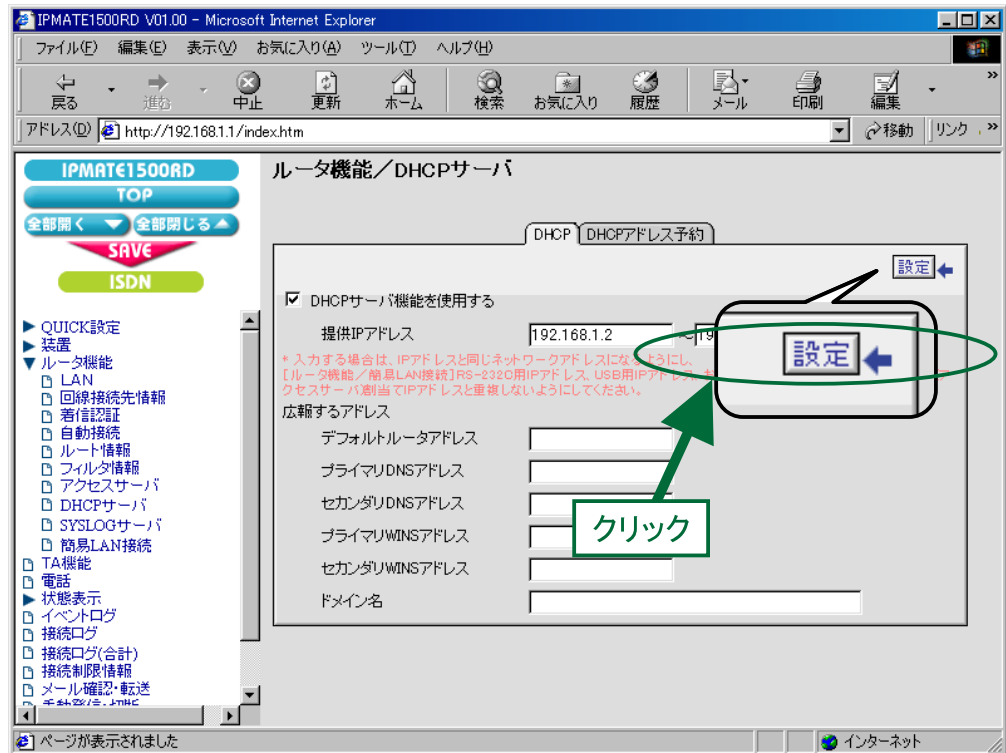
クリック

7. 「ルータ機能／DHCPサーバ」画面が表示されます。  
次の項目を設定します。

項目	設定例	備考
DHCPサーバ機能を使用する	チェックする	
提供IPアドレス	192.168.1.2 ~ 192.168.1.250	プライベートアドレスを設定します。



8. [設定]ボタンをクリックします。



9. 引き続き、簡易 LAN 情報の設定を行います。  
「ルータ機能」メニューより「簡易 LAN 接続」を選択します。

The screenshot shows the IPMATE1500RD V01.00 web interface in Microsoft Internet Explorer. The browser address bar shows <http://192.168.1.1/index.htm>. The page title is "ルータ機能/DHCPサーバ". The main content area is titled "DHCPサーバ機能/DHCPアドレス予約" and contains the following settings:

- DHCPサーバ機能を使用する
- 提供IPアドレス: 192.168.1.2 ~ 192.168.1.250
- 広報するアドレス:
  - デフォルトルータアドレス
  - プライマリDNSアドレス
  - セカンダリDNSアドレス
  - プライマリWINSアドレス
  - セカンダリWINSアドレス
  - ドメイン名

A callout box on the left side of the interface highlights the "簡易LAN接続" (Simple LAN Connection) option under the "ルータ機能" (Router Function) menu. A green arrow points from a box containing the text "クリック" (Click) to the highlighted option.

10. 「ルータ機能／簡易 LAN 接続」画面が表示されます。  
次の項目を設定します。

項目	設定例	備考
RS-232C 用 IP アドレス	192.168.1.251	
USB 用 IP アドレス	192.168.1.252	
LAN 接続用回線番号	9999	

RS-232C用IPアドレス 192.168.1.251

USB用IPアドレス 192.168.1.252

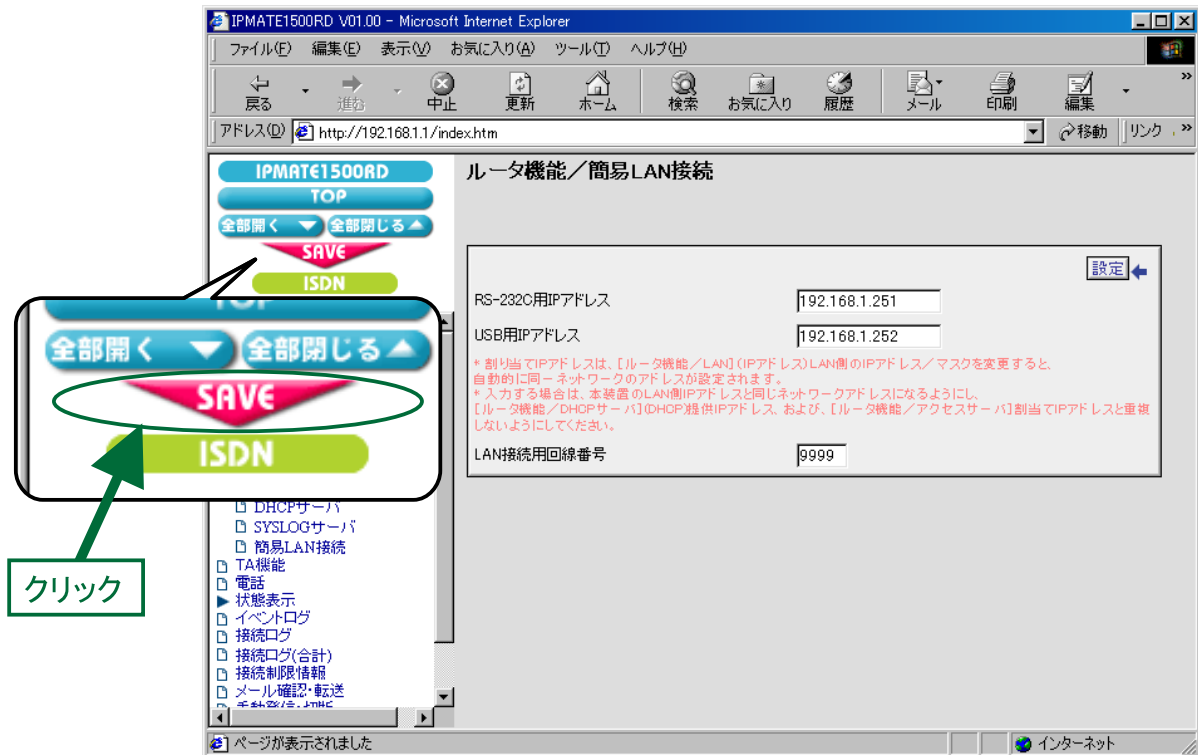
\* 割り当てIPアドレスは、[ルータ機能／LAN] (IPアドレス) LAN側のIPアドレス/自動的に同一ネットワークのアドレスが設定されます。  
\* 入力する場合は、本装置のLAN側IPアドレスと同じネットワークアドレスになるよう[ルータ機能／DHCPサーバ] (DHCP)提供IPアドレス、および、[ルータ機能／アクセスサーバ]割り当てIPアドレスと重複しないようにしてください。

LAN接続用回線番号 9999

11. [設定] ボタンをクリックします。

クリック

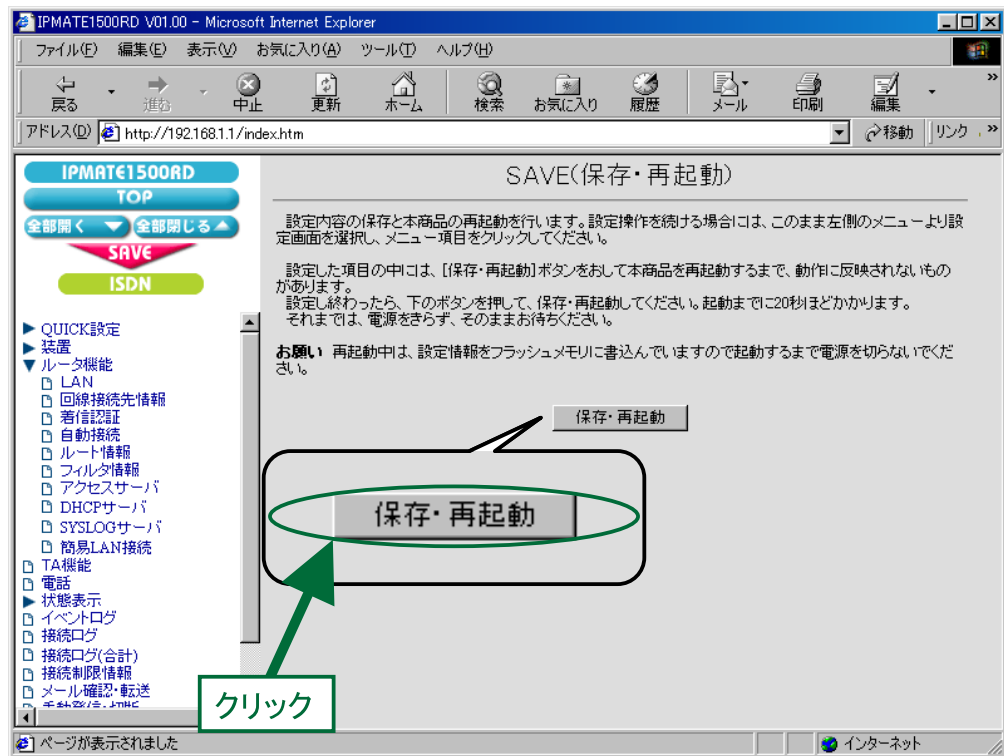
## 12. [SAVE] ボタンをクリックします。



## 13. 再起動画面が表示されます。

[保存・再起動] ボタンをクリックすると、再起動されます。

本商品の液晶ディスプレイに「ISDN READY」または「Layer1 Up」が表示され、POWERランプが緑点灯したら、設定完了です。



以上で LAN 情報の設定は終了です。



## ●シリアルポート側端末の設定

### 1. シリアルポート側の端末にダイヤルアップ設定を行います。

項目	設定例	備考
電話番号	9999	簡易 LAN にしたがって設定します。
IP アドレス / マスク	自動取得	
回線番号	9999	
サーバの種類	TCP/IP のみ	
PPP 設定ユーザ ID		設定不要です。
PPP 設定パスワード		

### 2. IP アドレスとホスト名の対応付けを行います。

例) 10BASE-T ポート側端末 (192.168.1.2) を設定する場合

c:\windows\hosts および c:\windows\lmhosts のファイルに次の記述を追加します。  
192.168.1.2 lan

## ● 10BASE-T ポート側端末の設定

Windows での LAN 側の端末と資源を共有するための設定を行います。

### 1. TCP/IP プロトコルのインストール (「本商品を接続する前の準備<パソコンでの設定>」参照) を行います。 各端末に、TCP/IP プロトコルをインストールします。 複数のプロトコルがインストールされている場合は、「TCP/IP」を標準プロトコルに設定します。

### 2. IP アドレスとホスト名の対応付けを行います。

例) シリアルポート側端末 (192.168.1.251) を設定する場合

c:\windows\hosts および c:\windows\lmhosts のファイルに次の記述を追加します。  
192.168.1.251 remote

- 指定するホスト名は、各端末に設定しているコンピュータ名にしてください。
- 設定後、リモート端末の検索方法は、次のとおりです

1. 「スタート」→「検索」→「ほかのコンピュータ」
2. 検索するコンピュータ名を入力 (例) lan1
3. 対象の端末が見つければクリックして共有リソースにアクセス